

平成24年度 福島県地域づくり総合支援事業 (サポート事業)

平成24年度に実施された『福島県
地域づくり総合支援事業(サポート事業)』
の実績を紹介します！



新規事業



(一般枠:その他の地域)

白河関通行手形みちのくプロジェクト

【事業団体】 ライダースピット白河関 (白河市)

【事業内容】 震災後、福島県の観光客が激減する中、「ライダー」来県者は減少していないことから、「ライダー」をターゲットにした誘客拡大を目指し、みちのくの玄関口である「白河の関」を『ライダースピット (ライダーのツーリング基地)』として整備し、様々な誘導策を展開しました。

- ◇ 「奥の細道通行手形」の発行…白河の関をスタート地点として、通過ポイントを設けたツーリングコースを周遊してもらい、帰還者には認定書を発行した。(H24実績 298枚)
- ◇ 「ライダースピット」の情報発信…駐輪場に看板を置き、ピット内には専用ラウンジを設け、ライダーが情報収集できるよう東北6県の地図やチラシ・パンフレット・PCを置いて情報を得られるようにした。



《駐輪場看板》



《案内看板》



《ラウンジ(関守亭店内)》



《通行手形》



立ち上がれ。心ひとつに。 ～サッカー日本代表戦スーパーパブリックビューイング～

【事業団体】 公益社団法人白河青年会議所（白河市）

【事業内容】 地域住民及び震災による避難者の心をひとつにし、喜びや感動を共有することと、震災により活力を失った街に元気を取り戻すために地域経済の活性化を図ることを目的として、サッカー日本代表戦の公式戦をパブリックビューイング形式にして多くの人々と一緒に観戦・応援する事業を実施しました。

- ◇開催日 ①平成24年6月3日(日) ワールドカップ最終予選 男子日本対オマーン戦
- ②平成24年7月28日(土) ロンドン五輪 女子日本対スウェーデン戦
- ③平成24年9月11日(火) ワールドカップ最終予選 男子日本対イラク戦

◇場所 ①③JRA ウィンズ新白河、②マイタウン白河 入場無料

◇会場出店 地元産品等販売、周辺飲食店案内、避難者によるPRブース等

◇来場者数実績 計3回延べ来場者数 1,050名



《ウィンズ新白河会場観戦風景》



《広告ポスター》



元気になるぜ 健康教室 聴いて歌って笑顔コンサート祭り事業

【事業団体】 東日本大震災復興応援推進事業実行委員会（白河市）

【事業内容】 震災後、不自由な生活を強いられ、心身ともに疲れている人々が、笑顔と元気を取り戻し、頑張ることができるように、心と体の健康づくりを行う事業として、複式呼吸を取り入れた「健康づくり講演会」や、歌で心に火を灯す「交流コンサート」を開催しました。

《元気になるぜ 健康教室 聴いて歌って笑顔コンサート祭り》

- ◇開催日 平成24年10月28日(日) 9時～16時30分
- ◇場所 西郷村文化センター
- ◇内容 歌謡コンサート、複式呼吸実技指導、地元農産物等の販売、浪江焼きそば販売
- ◇来場者数実績 530名

《出前複式呼吸教室》平成25年1月～3月、計6回、マイタウン白河3階、25名参加



《コンサート祭り》



《複式呼吸実技指導》



《出前複式呼吸教室》



いきいき子供広場事業

【事業団体】マイタウン白河運営促進協議会（白河市）

【事業内容】原発事故による放射能の影響が懸念されるため、自由に外で遊べない子供達に、夏休み期間中の室内の遊び場を提供しました。また、他県に住む地元出身の大学生ボランティアによる学習支援、講演会、ワークショップ等を行い、幅広い世代による交流の場を創出しました。

◇開催日 平成24年7月25日(水)～8月19日(日) 入場無料

◇場所 マイタウン白河1階ホール及び3階ホール

- ◇内容
- ・子供遊び場(遊具やゲームを設置)
 - ・大学生による学習支援(対象:小中高生、夏休み宿題、自由研究対策、進路相談)
 - ・講演会、白河探検ツアー、料理教室等

◇期間中来場者数実績 延べ3,868名



《子供遊び場》



《学習コーナー》



《告知ポスター》



東京六大学応援団連盟 「白河復興応援プロジェクト」

【事業団体】東京六大学応援団連盟「白河復興応援プロジェクト」実行委員会（白河市）

【事業内容】東京六大学応援団連盟所属の各大学応援団の学生と、白河在住の各大学OB達が連携して、白河市民や被災者等に応援団の実演を披露し勇気づけるとともに、地元特産品販売とPR等を行い、交流を深めました。

◇開催日 平成24年9月2日(日) 14時～17時 入場無料

◇場所 白河市民会館

- ◇内容
- ・各大学によるリーダー部・吹奏楽部・チアリーディング部による実演
 - ・白河のヒーロー「ガルライザー」との共演
 - ・地元農産物販売、白河物産品販売、飲食コーナー、復興(福幸)紅白餅つき

◇来場者数実績 1,200名



《応援団実演》



《復興(福幸)紅白餅つき》



《告知ポスター》



～自転車で新しい風を～ 「さあいこう!!白河 Project」

【事業団体】 白河商工会議所青年部（白河市）

【事業内容】 白河地域には、全国でも類を見ないほど高校に自転車競技部が存在しており、競輪選手を職業としている人やオリンピック選手を輩出するなど、自転車競技が大変盛んな地域である。このことから、自転車を活かした街づくり・観光資源としてPRするため、中心市街地において「自転車ロードレース大会」を開催しました。

- ◇大会名 「cycle road race ^{シロ}城^デd 白河^{シラカフ} 2012」
- ◇開催日 平成 24 年 11 月 11 日(日) 9 時～14 時
- ◇場 所 白河駅前道路(白河羽鳥レイクライン)・白河駅前イベント広場
- ◇内 容
 - ・幼児から社会人までの部門別レース、プロによるデモンストレーションレース
 - ・自転車競技PRブース、アトラクションエリアの設置
 - ・オリンピック出場選手のトークショー

◇参加者数実績 334 名



《自転車部門別レース》



《子供部門レース》



《最高速測定ブース》



白河関まつり 東日本大震災復興祈願 「夏・元気・踊り三昧」

【事業団体】 白河まつり振興会（白河市）

【事業内容】 震災により影響を受けた中心市街地や観光地に活気を取り戻すため、昨年数年ぶりに復活した「白河関の踊り流し」や全国のよさこい団体・阿波踊り団体を招いて、夏に元気になるイベントを開催しました。

- ◇イベント名 白河関まつり「夏・元気・踊り三昧」
- ◇開 催 日 平成 24 年 8 月 5 日(日) 14 時～18 時
- ◇場 所 白河市内中心部
- ◇内 容
 - ・「白河関の踊り流し」、全国の「YOSAKOI」「阿波踊り」団体参加による踊り流し開催、踊り流しの講習会実施
 - ・「復興祈願七夕飾り」市内小中学生に復興短冊を作成してもらい、会場に飾った。

◇来場者数実績 約 11,000 名



《白河関の踊り流し》



《阿波踊り》

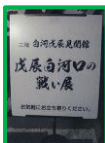


戊辰東北戦争研究事業

【事業団体】 戊辰東北戦争研究会（白河市）

【事業内容】 平成 25 年 1 月からNHK大河ドラマ『八重の桜』の放送が始まり、白河市も「戊辰戦争白河口の戦い」の場所として注目が集まることが予想されることから、観光客が市内を回遊する拠点として「戊辰東北戦争資料展」を訪れるように、様々なPR活動を行いました。

- ◇「白河口の戦い資料展」開催…白河戊辰見聞館での展示をリニューアルし「西郷頼母や松平容保の直筆掛け軸」・資料を展示するなど、内容を充実させました。
- ◇「第 13 回全国新撰組サミット in ふくしま」開催…「白河口の戦い」での新撰組の活躍を知ってもらい、全国の新撰組ファンに新たな聖地としてPRしました。
 - ・開催日 平成 24 年 9 月 21 日(金)～22 日(土)
 - ・内 容 記念パネルディスカッション、新撰組サミット会議、小峰城での出陣式他
- ◇「白河新撰組同好会」設立…毎月定例会を開催し、「新撰組」を新しい地域おこしのテーマとして活用する方策について話し合い、活動をしていきます。



《白河口の戦い展》



《全国新撰組サミット in ふくしま》



《出陣式》



《白河新撰組同好会》



第 2 回しらかわの匠と伝統の技展 「がんばるぞ！白河 食と職の市」

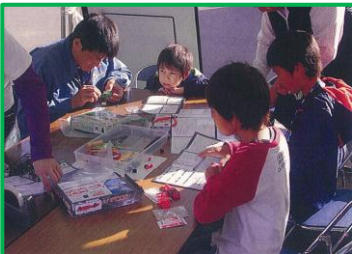
【事業団体】 しらかわ食と職の祭典実行委員会（白河市）

【事業内容】 震災により地場産業が厳しい状況にあることから「しらかわの匠と伝統の技」をテーマに、昨年「ものづくり」に焦点をあてた『食と職の市』を開催し、多くの来場者と親子ものづくり体験を行い街なか賑わいました。今年度は参加団体も増え、内容を拡充して、さらなる賑わいを目指して開催しました。

- ◇開催日 平成 24 年 10 月 27 日(土)～28 日(日)、10 時～16 時、入場無料
- ◇場 所 白河駅前イベント広場/白河市立図書館(地域交流エリア)
- ◇内 容
 - ・ものづくり体験イベント、模擬上棟式、だるま絵付け、各種工芸品等の展示等
 - ・地場製品の販売、ラーメン・そば等飲食店ブース、ステージイベント等
- ◇来場者数実績 約 18,000 名



《ステージイベント》



《ものづくり体験》



《模擬上棟式》



《飲食・物販ブース》



ふくしまで野菜を作るプロジェクト

【事業団体】 表郷いいもの開発協議会（白河市）

【事業内容】 白河で「農業体験」をしたいという首都圏等の方々を対象として、遊休農地を活用した市民農園を開設し、「農業体験」を通して、農産物の安全性の理解を深めてもらう活動を行いました。

◇農園の開設…白河関の里近くに農園を開設。年間を通じた実践的農業体験プランとして、水田栽培と野菜栽培を実施した。管理は障害者就労施設に委託し、交流の場を深めた。

◇イベントの開催…田植え・苗植えや収穫時期にあわせてイベントを開催し、参加者の来訪を促した。更に、収穫した野菜は漬物体験を行うなどして後日会員宅へ送り、今後の活動につなげた。（5月～8月田植え・野菜苗植え、10月サツマイモ収穫、12月大根・白菜、等）

◇会員の募集…昨年のメンバーや、活動の情報発信により、福島県の農産物の安全性をPRするとともに、県南地方への誘客や会員の増加を目指した。

◇農業体験参加数実績 延べ参加者数 126 名



《サツマイモ掘り体験》



《漬物作り体験》



陽はまた昇るプロジェクト

【事業団体】 白河商工会議所青年部（白河市）

【事業内容】 地域の復興・再生のため、みんなで力を合わせて、子ども達に夢と希望を与え、市民に明るさを取り戻し、地域を元気にする 4 つの事業を実施しました。

◇体験！夏の課外授業～僕らの探検団～…高校生や大人と力を合わせて屋外で料理や工作等した。

平成 24 年 7 月 22 日(日)、きっぺの里(西郷村)、参加者 46 名(小学校高学年)

◇しらかわ Smile Day 2012～たくさんの笑顔がここにある～…夏のイベント。

平成 24 年 8 月 5 日(日)、JR 白河駅イベント広場周辺

◇僕らの職業体験…地元企業の協力のもと、調理や運送等 11 種の仕事(職業)を体験した。

平成 24 年 10 月 27 日(土)～28 日(日)、JR 白河駅前イベント広場(「食と職の市」同日開催)

◇ギネスに挑戦「チャレンジ日本一」…「白河だるま」「小峰城」をモチーフに巨大手形アート制作

平成 25 年 3 月 24 日(日)、白河市第二体育館、参加者 88 名(小学生)



《夏の課外授業》



《しらかわ Smile day》



《職業体験》



《チャレンジ日本一》



うれし、たのし、まち歩き 《新たな情報通信を活用した回遊促進》

【事業団体】財団法人白河観光物産協会（白河市）

【事業内容】震災及び風評被害により激減した観光客を呼び戻し、中心市街地の回遊を高めるため、今年度は白河市内の行政・飲食・菓子等の業界が総力をあげて「スマートフォン用ソフトウェア」を開発し、白河観光の情報発信やPR活動を行いました。

◇白河アプリ作成…白河の観光情報を提供するスマートフォン用(iPhone対応)デジタルナビゲーションソフトウェア(白河アプリ)を作成し、回遊を促す観光情報、飲食店情報、お土産情報、散策コース情報をワンストップで提供した。

◇広報活動…白河アプリへ誘導するQRコード設置し、PR活動を行った。

◇白河だるま市携帯フォトコンテスト開催…「白河だるま市の風景・人物」をテーマに、誰でも参加できる携帯端末の写真機能を活用したフォトコンテストを開催して、白河市への誘客拡大を図った。

・写真募集期間 平成25年2月11日(月)～3月8日(金)



《スマートフォン用アプリのトップ画面》



《アプリPR用チラシ》



《携帯フォトコンテストチラシ》



白柵線が取り持つ“縁”(えにし)事業

【事業団体】NPO法人表郷ボランティアネットワーク（白河市）

【事業内容】全国的にも珍しいバス専用路線「白柵線」を活用し、沿線町村の特産品や史跡・名所地をPRするとともに、県南地方への誘客を促して、地域の元気につながる事業を展開しました。

◇サッカーで元気を！in 表郷…地元の子供達と元Jリーガー岩本、名良橋氏によるサッカー教室。

・開催日 平成24年5月27日(日) ・場所 ホテル&コテージ白河関の里芝生コート

◇夏だ！元気だ！福幸だ！「そうだバスに乗ろう」表郷ふれあい夏まつり

沿線町村民や浪江町避難民と一緒に、特産品販売、浪江焼きそば出店など、様々なイベントを行い交流した。

・開催日 平成24年8月26日(日) ・場所 JRバス磐城金山駅駐車場

◇白柵線写真コンテスト…募集期間平成24年8月1日(水)～12月10日(月)

◇白柵線ウォーク…普段立ち入りが禁止されている路線内や山道でウォーキングを開催した。

・開催日 平成24年11月23日(祝金)

・第10回びゅっこの里ファミリーウォーク in 表郷…里山を歩くコース

・第5回日本一遅い？山開き「天狗山登山」…本格的な山歩きコース



《サッカー教室》



《表郷ふれあい夏まつり》



《ファミリーウォーク》



《写真コンテストチラシ》



野出島の里づくり

(一般:その他の地域)

【事業団体】野出島地域活性化プロジェクト（白河市）

【事業内容】耕作放棄地や震災の影響で作付できなかった土地にそばを育てて収穫する他、そばの花を見るイベントや、未来を担う子供達に郷土の歴史を知ってもらうための講演会を開催する等、地域資源を活用して交流拡大・地域の元気につなげていきました。

◇野外交流イベント

- ・菜の花鑑賞会（平成24年5月6日(日)）
- ・親子ホタル探勝会（平成24年6月30日(土)）
- ・そばの花を見る会（平成24年9月16日(日)）

◇第3回野出島の里新そば交流会（平成24年11月18日(日)）、参加者数420名

◇郷土史講演会（平成24年12月15日(土)、場所：白河東文化センター）

- ・イベント名 「狛犬講演会パート2&光南高校シンセサイザー演奏会」
- ・講師 作家 たくき よしみつ 氏

◇フォトコンテスト・地域情報マップ作成…「自然豊かな野出島の里散策マップ」6,000部制作



《菜の花鑑賞会》



《新そば交流会》



《狛犬講演会チラシ》



《野出島の里散策マップ》



しらかわ地方“もてなしの心”発信事業

(一般枠:その他の地域)

【事業団体】県南地方魅力発見隊（白河市）

【事業内容】県南地方の「食」の情報を発信し、観光誘客を拡大するため調査・発掘してきた「祝い膳」から創り出した『新祝い膳(新御膳)』が昨年度完成しました。今年度は、調理講習会で取扱店を開拓しながら、料理ガイドマップを作成して『新祝い膳』を県南地方の新たな名物として売り出しました。

◇試食会実施と弁当名公募

- ・開催日 平成24年7月17日(火)、15時から
- ・場 所 ホテルサンルート白河
- ・弁当名 「みちのく“彩(いろどり)”ごっつお弁当」に決定

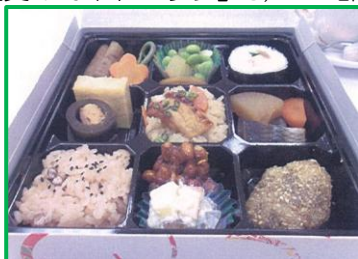
◇取扱店拡大のためのレシピ公開と調理講習会開催…「ごっつお弁当」の数品の作り方を指導

- ・開催日 平成25年2月13日(水)、白河市産業プラザ、参加者数実績 約30名
- ・開催日 平成25年2月20日(水)、棚倉町文化センター、参加者数実績 約30名

◇取扱店マップ作成配布…「食と歴史のガイドマップ」3,000部作成



《試食会》



《みちのく“彩”ごっつお弁当》



《試食会チラシ》

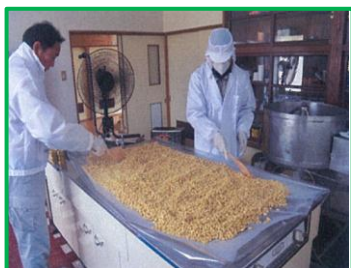


「大豆パワーで強い絆づくり」事業

【事業団体】 深渡戸町内会（白河市）

【事業内容】 集落の活性化を図るために平成23年度に策定した集落等再生計画に基づいて、今年度は、本格的な6次化商品に向けて、地域資源である大豆をもとに、生活必需品の味噌を加工販売し、収入の更なる向上と集落の活性化を図りました。

- ◇大豆栽培地の拡大（8.5ha）
- ◇大豆を味噌に加工する器具の整備
- ◇醸造専門家による、大豆を味噌に加工する技術の研修及び実践



《味噌加工の工程》



つなごう・ふるさと中島・絆・交流会

【事業団体】 ふるさと中島・川原田を想う会（中島村）

【事業内容】 震災の影響により中止していた地域の伝統的民俗行事である「やぐら太鼓(盆踊り大会)」を復活させることで、伝統文化の継承に努めるとともに、地域住民と避難者との絆や交流をより一層深め、元気になるような様々な活動をしました。

- ◇講演会「原発避難500日」の開催
 - ・開催日 平成24年7月17日(火)午後7時～、川原田ふれあいセンター、80名参加
 - ・講師 若月 芳則 氏
 - ・内容 原発事故の影響で避難生活を送っている方々から、ふるさとへの思いを聞く講演会
- ◇やぐら太鼓の練習と講習会…笛や太鼓の技能指導を行い、ふるさとの伝統文化を継承した。
 - ・講習会 7月上旬から9日間
 - ・内容 青年団による、幼稚園児から中学生への指導
- ◇伝統行事「やぐら太鼓（盆踊り大会）」の復活
 - ・大会名 「ふるさと みんなの夏まつり」
 - ・開催日 平成24年8月13日(月)午後4時～10時
 - ・内容 やぐら太鼓、豊年・復興盆踊り大会、フラダンス、よさこい、浪江焼きそば販売等
 - ・参加者数実績 約700名参加



《講演会》



《やぐら太鼓・盆踊り大会》



《まつりポスター》



復興支援「ふるさと元気化事業」

【事業団体】 地震・原発災害復興支援「ふるさと元気化事業」実行委員会（矢吹町）

【事業内容】 芸術文化活動を通して、被災住民並びに地域住民と絆を深め、精神の復興を図り、ふるさとを元気にする事業を行いました。

◇子供達の音楽教育元気化事業

- ・開催日 平成 24 年 6 月 3 日(日)、会場 矢吹町立矢吹中学校、小中学校生対象約 100 名参加
- ・内 容 東京佼成ウインドオーケストラメンバー5 人を講師に楽器奏法レッスン

◇「須川展也と東京佼成ウインドオーケストラ」コンサート&地場産業祭

- ・開催日 平成 24 年 6 月 9 日(土)15 時～、会場 矢吹町文化センター大ホール・駐車場
- ・来場者数 約 820 名(避難者・小中学吹奏楽部生部員等 200 名無料招待)
- ・地場産業祭 地元野菜・地酒直売コーナー、そば試食コーナー(300 食)、陶芸体験教室等

◇陶芸ワークショップと復興陶板の共同制作

- ・開催日 平成 24 年 10 月 28 日(日)、場所 ふるさとの森芸術の村、約 30 名参加
- ・内 容 復興への願いを込めた陶芸板モニュメント「希望」制作。



《楽器奏法レッスン》



《オーケストラコンサート》



《陶芸板モニュメント「希望」》



復興元年「やぶき復興祭」事業

【事業団体】 やぶき復興祭事業実行委員会（矢吹町）

【事業内容】 震災で大きな被害を受けた矢吹町が、「地域産業の復興」と「心の復興」を目指して昨年開催した『やぶき復興祭』を、今年度も周辺市町村・団体の他、町の姉妹都市である三鷹市や、三大開拓地として交流のある十和田市及び宮崎県川南町などの県外の団体、自衛隊も参加し、より拡大して地域が元気になるための『復興祭』を開催しました。

◇開催日 平成 24 年 11 月 11 日(日)

◇場 所 矢吹球場特設会場

◇内 容 地元農畜産物販売、飲食コーナー、友好都市による復興支援ブース、太鼓演奏、「まちキャラクター」の競演、自衛隊による救援活動展示、サンバパレードなど

◇来場者数実績 約 6,000 名



《太鼓演奏》



《サンバパレード》



《PRチラシ》



ホースセラピー活用支援事業

【事業団体】 特定非営利活動法人元気づくりサポートセンターなんなん福島（棚倉町）

【事業内容】 東日本大震災により長期的に避難生活をしている子供達や、県南地方の多くの子供達に、アニマルセラピーの一種である「ホースセラピー」を実施し、子ども達の心のケアを行いました。2年目となる今年度は募集人数を増やし、参加者や地域の方々との交流を深めました。

◇開催期間 前期5月～9月、後期10月～12月、毎月1回全10回

◇開催場所 ルネサンス棚倉乗馬クラブ

◇参加者 福島県内の小・中学生、前期後期合計724名以上

◇内容

- ・乗馬インストラクター・乗馬会員による、馬とのふれあい方、世話の仕方、引き馬、並足、駆け足等の本格的な乗馬体験。
- ・ホースセラピストによるホースセラピーの実施。



《横断幕》



《馬とのふれあい》



《乗馬体験》



町なかコミュニティ三世代交流事業

【事業団体】 棚倉町第二行政区自治会（棚倉町）

【事業内容】 棚倉町第二行政区は、少子化と同時に高齢者の一人暮らし増加という課題がある一方で、三世代同居世帯が多いという特徴があるため、様々な行事を三世代で取り組み、地域行事の継承や世代間の交流をすることにより、高齢者の介護予防、また、地域の伝統・環境に関心を持ち、他人に対する思いやりの心を持つ子供達を育成することを目指しました。3年目の今年度は、新たに夏休み期間に「真夏の縁日」を開催し、避難者支援と交流を促進しました。

◇地域サロンの開催…子供達と高齢者の交流会、ミニ門松作り、消火訓練、ひなまつり等、4回開催

◇三世代清掃ボランティア活動…地域の公園や歩道を三世代で清掃・粗大ゴミ回収等、4回実施

◇お寺のラジオ体操…高齢者の健康増進及び地域コミュニティの推進のため三世代で実施

◇真夏の縁日…三世代の交流の盆踊り大会等実施。平成24年8月6日、約300名参加

◇花いっぱい運動…各世代に花の苗やプランターを配布。約230世帯



《消火訓練》



《三世代清掃ボランティア活動》



《真夏の縁日》



《花いっぱい運動》



「元気な下手沢柿(かっき)づくり」事業

【事業団体】 棚倉町下手沢区（棚倉町）

【事業内容】 地区内に多く存在する耕作放棄地の再生を図るため、柿等を植栽し農地再生を図りながら、収穫物販等による収益化を目指し、地区全体で肥培管理等の作業に取り組むことや、集会所を通年開放し、高齢者が気楽に立ち寄り交流できるようにするなどして、失われつつある地域内のコミュニティの再構築を行いました。

◇耕作放棄地復元(35a)、柿の植栽(18a)、柿等肥培管理(90a)、そば栽培・菜の花栽培(20a)

◇集会所開放(通年開放) ◇PR 看板設置

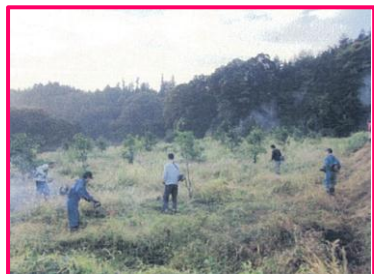
◇講演会開催：平成 24 年 6 月 30 日(土)、場所：下手沢集会所

内 容：「放射線に関する講演会」放射線の健康や農産物への影響について。

講 師：塙厚生病院放射線科医師

◇盆踊り大会開催：平成 24 年 8 月

◇収穫祭開催：平成 24 年 12 月 16 日(日)、場所：下手沢集会所



《柿畑の除草》



《そばの刈り取り》



《収穫祭》

新規事業

(一般枠:過疎・中山間地域)



東日本大震災復興—安心・安全「ふくしま・はなわ」の発信 大学との連携による特産品開発事業

【事業団体】 はなわふるさと物産直売センター組合（塙町）

【事業内容】 塙町の観光・交流を活性化するため、農・商団体や交流のある東京聖栄大学と連携して、町の野菜を利用した特産品の開発を行うとともに、交流している首都圏の商店街において販売し、安心・安全な「ふくしま はなわ」を発信しました。

◇特産品「ふくしま はなわ ブランド」開発

- ・農(生産)、商(加工・販売)、学(調査・研究)が連携して、町特産品の開発を行った。(7品)
- ・特産品には、はなわの野菜(バイオケミカル農法(竹粉農法))を利用。
- ・東京聖栄大学と連携し、都市住民のニーズ調査・パッケージの開発を実施。

◇「はなわ ダリちゃんショップ」開設、特産品の販売・PR 活動実施

- ・平成 24 年 7 月 24 日(火)、東京都葛飾区新小岩北口に塙町のアンテナショップ「ダリちゃんショップ」を開設し、週3日「はなわ オリジナル 野菜」として新鮮野菜やダリア切花・物産品の販売・イベントの実施・PR 活動を行った。
- ・直売所では生産者と東京聖栄大学の学生が直接販売し、都市住民のニーズ調査等や風評被害の払拭に取り組んだ。



《特産品の販売の様子》



《ダリちゃんショップ》



《新米フェアの様子》



山・水・花ふるさと花街道づくり事業

【事業団体】 埴町東河内二区（埴町）

【事業内容】 埴町の東河内二区は町の北東部の中山間地に位置し、北・西は鮫川村、西は棚倉町に接している。30m級の滝や豊かな清水、山野草の資源が多く、緑に囲まれた自然豊かな地域であることから、平成24年度に開通する地区内の林道整備に合わせてその自然を活用した集客により、特産品開発、集落の経済活性化、移住者の受入などについての取り組みを集落で計画していきました。（集落等再生計画策定事業）

◇事業計画会議…地域の魅力・自然資源の発掘、活用などについて（4回）

◇先進地視察…平成24年10月28日(日)

真名畑あんずの里、鮫川村尻の清水、矢祭希望の里等視察

◇湧水水質検査・花街道路線調査



《先進地視察(鮫川村)》



《湧水水質検査》



《花街道路線調査》



矢塚地区活性化事業

【事業団体】 矢塚区（埴町）

【事業内容】 埴町矢塚地区は、平成22年度に「大学生の力を活用した集落等活性化事業」により東日本国際大学から地域活性化の提言を受けたことに基づき、3年計画で人々が集う花の名所を目指し、ダリア・ツツジの植栽や、遊歩道・展望台等の整備を進め、農産物や加工品による矢塚ブランド開発を、集落活性化のため埴町が都会から招致してこの地に移住した「地域おこし協力隊」2名の協力を得ながら行いました。

◇「唐松峠」山頂の一部0.7ha「第2希望の森」までの遊歩道約400mの整備

・阿武隈高原の山並みを眺望したり、夜間の星座観測等ができるようになり、観光客や地元住民の誘客につながった。

◇次年度のダリア植栽に向けた球根の準備（ダリア球根の確保・管理）

◇矢塚産農産物を「矢塚ブランド」として販売するため、産品開発に向け取り組んだ。



《遊歩道の整備》



《整備遊歩道》



《確保した球根》



はなわのダリア一大産地確立プロジェクト事業 東日本大震災復興 - ダリアによるふくしまのPR

【事業団体】 埴町ダリア切花生産等推進協議会 (埴町)

【事業内容】 「はなわのダリア」 一大産地化を目指し、ダリアによる切り花の産地形成によって、低迷した農家所得向上とイメージアップによる後継者育成に歯止めをかける活動を行いました。また、ダリア PR と併せて、東日本大震災復興キャンペーンに参加し、「ふくしま」の農産物等の安全性についての PR 活動を実施しました。

- ◇ダリア栽培技術の共有化の促進・技術講習会・新品種育種・栽培講習会の開催 (4 月～8 月)
- ◇はなわのダリアフェア開催 (9 月、東京都青山フラワーマーケット)
- ◇首都圏を中心としたダリア PR 活動及び震災復興イベント参加等



《ダリアブーケ教室》



《ダリアの華展(池袋サンシャインシティ)》

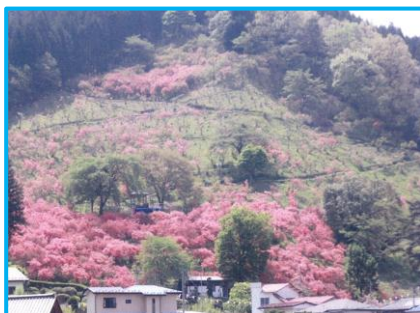


100年の鼓動！甦れ風呂山公園事業

【事業団体】 埴町観光協会 (埴町)

【事業内容】 埴町の中心街にある「風呂山公園」にヤマツツジが植えられてから平成 24 年で満 100 年目になるため、「風呂山公園 100 年祭」を開催して、観光誘客と震災からの復興をアピールしました。また、ヤマツツジの育成や再生にも取り組みました。

- ◇「燃ゆる風呂山 100 年祭～甦れ 100 年の鼓動～」イベント開催
 - ・開催日：平成 24 年 5 月 2 日(水)～6 日(日)、13 日(日)
 - ・内 容：5/2～6 記念式典、各種イベント、出店、スタンプラリー、夜間ライトアップ
 - 5/6 商店街花まつり、歩行者天国
 - 5/13 はなわ太鼓祭り他
- ◇挿し木育成事業 (4 月) …100 年祭時に挿し木をプレゼントした。
- ◇ヤマツツジ再生整備 (6 月～7 月) …古木ヤマツツジに竹粉を散布して活性化させた。



《風呂山公園の全景》



《スタンプラリーの様子》



《竹粉散布作業》



共生のまち・はなわ 寺西八カ条プロジェクト事業

【事業団体】 埴町婦人会 (埴町)

【事業内容】 江戸時代の埴代官「寺西重治郎封元」による『寺西八カ条(儒教の五輪五常の徳目を分かりやすく説いた)』を基軸として、子育て支援、青少年の健全育成、高齢者支援、震災被災者への支援活動を行うことにより、地域力の向上・充実を図りました。

- ◇寺西八カ条創作民話紙芝居を活用するための自主研修
- ◇小学校や子育ての場での紙芝居の読み聞かせ活動
- ◇子育て・高齢者・大震災被災者支援のための活動
- ◇子育て支援ブックスタート(絵本プレゼント)事業
 - ・紙芝居 20 セット作成
 - ・赤ちゃんへの絵本プレゼント 65 人



《紙芝居》



《紙芝居実技研修》



《高齢者支援活動》



「クロカンを活用して 走る・泊まる・また来る」事業

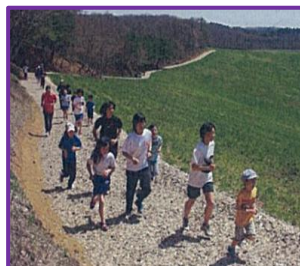
【事業団体】 鮫川村合宿受入協議会 (鮫川村)

【事業内容】 震災や原発事故による風評被害で減少している地域経済の復元を図るため、鹿角平観光牧場内に整備したクロスカントリーコース利用者の受入体制を確立し、スポーツを通して交流人口の拡大と地域経済の活性化を図りました。

- ◇クロスカントリーコース PR 活動
 - ・合宿受入体制整備のため協議会設立
 - ・PR用パンフレット作成
 - ・スポーツ合宿 PRのため東京都内大学等6か所訪問(平成25年7月25日(水)~26日(木))
- ◇アスリート用メニュー等の開発
 - ・鮫川流「スローライフ」を実践し、他地域との差別化によるリピーターの増加を図った。
 - ・地産地消に基づいたアスリート用メニューの開発



《オープニングセレモニー》



《クロスカントリーコース》



《アスリート用食事》



《協議会会議の様子》